

南部地域

南部地域のデータ

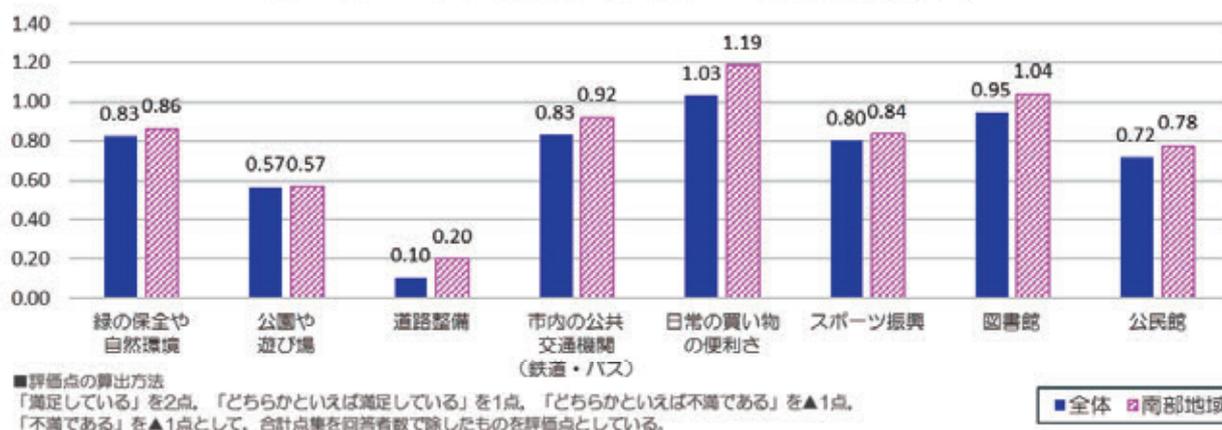


地域範囲	小島町1～3丁目, 布田1～6丁目 国領町1～8丁目, 染地1～3丁目 多摩川3～7丁目, 調布ヶ丘1～2丁目 八雲台1～2丁目
地域人口	85,885人 (令和5年1月1日現在)
地域世帯	45,907世帯 (令和5年1月1日現在)

南部地域の現状と課題

- 南部地域は、京王線調布駅を含む4駅が中心市街地を形成しています。公共公益施設や商業・業務施設など、まちの主要な都市機能が集積している地域でもあります。
- 平成24年8月に京王線の地下化が実現したことにより、道路交通の円滑化や歩行者・自転車の安全性の向上、鉄道により分断されていた市街地の南北一体化など、市の都市構造が大きな変貌を遂げました。また、調布駅周辺では、平成29年9月にシネマコンプレックスを含む3館の複合商業施設「トリエ京王調布」がオープンし、市内外から多くの方が調布のまちを訪れ、新たなにぎわいが創出されています。
- 調布駅周辺地区については、魅力ある中心市街地の形成に向けて、都市機能の集積を図る必要があります。特に、調布駅南口中央地区においては、商業・業務地区にふさわしい市街地整備を推進するため、住民発意のまちづくりの検討が進められています。
- 令和元年台風第19号において、6,000人以上の方が避難所に避難するとともに、200軒を超える家屋が浸水被害等を受けた経験や教訓を生かし、近隣市と連携した浸水対策を着実に実施する必要があります。
- 市民意識調査では、「交通機関」、「日常の買い物の便利さ」、「公民館や図書館」に対する満足度が高く、生活面での利便性の良さが評価されています。

南部地域における市民満足度（令和4年度市民意識調査）



南部地域におけるまちづくりの方向

◆魅力的な駅前広場の整備と鉄道敷地の活用による都市空間の創出

交通結節点としての機能の充実を図るとともに、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎを生み出す都市空間として、交流機能や景観形成機能を兼ね備えた調布駅前広場及び、調布・布田・国領3駅の駅前広場と各駅をつなぐ鉄道敷地の整備完了に向けた取組を進めます。

◆魅力ある中心市街地の形成

商業・業務機能や生活機能がバランスよく整えられた良好な市街地の形成を図るため、土地の有効・高度利用と公園や道路等の整備に向けて、地区計画制度の活用や、市街地再開発事業、土地区画整理事業などの面的整備手法を活用したまちづくりを進めます。

◆調布駅周辺の大型公共施設の整備

調布駅周辺の大型公共施設である総合福祉センターについては、地域共生社会を充実するための総合的な福祉の拠点として、利用者や関係団体等の意見を踏まえながら、京王多摩川駅周辺のまちづくりにおける駅前複合拠点地区への移転を進めていきます。また、グリーンホールについては、市民による文化芸術活動の拠点を継承するため、利用者等の意見も踏まえつつ、現敷地での更新に向けた取組を進めます。

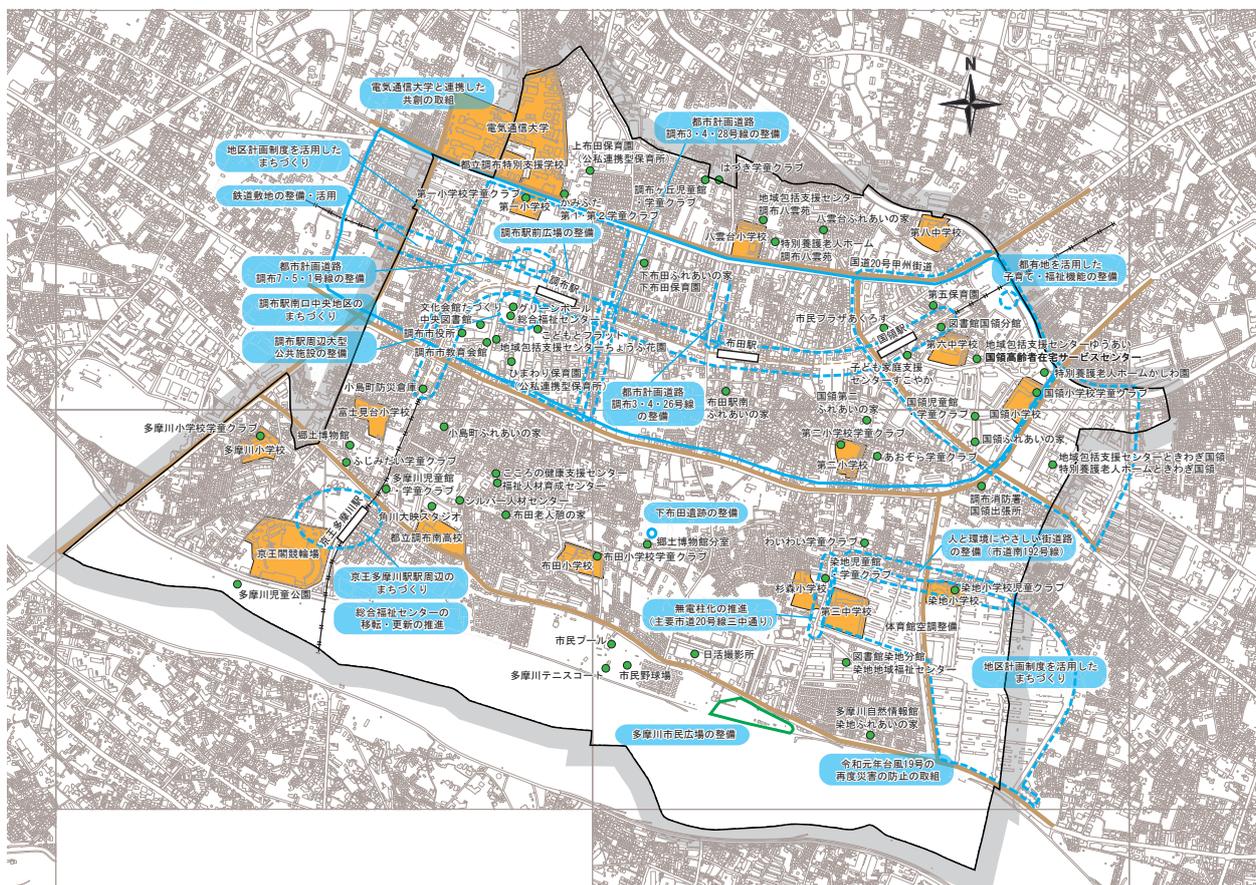
◆水害に強いまちづくりの推進

令和元年台風第19号に伴う浸水被害を受けた染地地域をはじめとした被害の軽減に向けて、突発的な豪雨にも対処できる河川・水路環境の整備や、国、東京都、近隣自治体との連携による都市型水害対策を推進します。

頻発・激甚化する水災害に備えて、避難行動によって危険を回避することを基本としながら、多摩川の河道掘削の促進等について国へ働きかけるとともに、近隣市と連携して内水氾濫の軽減に向けた取組を進めるなど、防災・減災まちづくりを推進します。

◆都有地を活用した子育て・福祉機能の整備

公私連携型保育所制度を活用した公立保育園の民営化と合わせた移転・更新に加え、認知症の方の住まいや医療・介護ニーズに24時間対応できる地域密着型サービス等の整備について、東京都をはじめとする関係機関との協議・調整を行いながら、都有地を活用した取組を検討・推進します。



「この地形図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号)4都市基交著第135号,4都市基交測第207号」